

受賞コメント



優秀賞

『社長ありがとうございます』

NGUYEN HOANG VIEN

- 国 籍：ベトナム
- 入 国 日：2018年8月31日
- 受入れ企業：株式会社T社
- 受入れ組合：協同組合関西技術協力センター

★受賞した今の気持ち

受賞ができて大喜びしました。正直、初めて日本語を勉強した時は、難しいと思って、何回も諦めかけました。しかし、だんだん日本語を使う機会が増えて、話せる可能性が高くなったので、最初の不安な気持ちはなくなりました。嬉しいです。

★この題材を選んだ理由

3年間は短くもなく、長い期間でもなかったのですが、社長からいただいた「ご恩」は、たくさんもらいました。社長が自分の手で、会社の皆にPCR検査をしてくれたのは忘れません。

★これからの目標・夢

ベトナムをまだ知らない人々にもっとベトナムを教えたいです。日本のことがよりおおく興味を持ちました。もっと日本語が上手になりたいです。

★その他メッセージ

＜受入れ企業様からのコメント＞

この度は、作文コンクールの輝かしい受賞、誠におめでとうございます。
ヴィエンの近くにいた身としましては、自分のことのように嬉しく思います。
日本に来て3年、日本語の勉強・仕事を誰よりも努力し続けた結果だと思いますから、これからも何に関しても努力を惜しまずに自分の道を進んでください。応援しています。
今後もさらにご活躍されますように心よりお祈りいたします。

(記入者： 代表取締役社長 T 様)

優秀賞

『社長ありがとうございます』 NGUYEN HOANG VIEN

今年の4月、社長に連れて行っていただいた
た東京旅行を思い出します。長旅から疲れて
帰宅した後、生憎ベトナムの同僚の一人が新
型コロナウイルスに感染してしまいました。
社長はその事をとて心配して、すぐに電話
してくださいました。
あくる日、社長は寮にいらっしやり、お見
舞いの言葉もかけてくださいました。そして
、隔離期間を乗り越えられるように、社長は
色々な日用品を買ってくださいました。缶詰
や医薬品だけじゃなく、社長自らの手で、皆
の検査もしてくださいました。その姿は、私
の心に深く刻み込まれ、忘れられないもの
になりました。
隔離の間、心配を抱えて緊張し、具合が悪
くなるのではなかと危惧しました。日に日に
、「この疫病で死んでしまうのたぞうか」と
落ち込んでいきました。朝起きてから皆さん
と連絡して、一人一人の声を聞かないと何も
したくなく、何も出来なくなってしまうし

た。いろいろなことを考えてしまい、将来が非常に怖くなったと言っても過言ではありません。

そのような状態で一週間を過ごしました。

辛い毎日でした。

しかし、数日後、携帯が鳴った時、社長が様子を見にいらっしゃっていました。前回にも増して、いくつかの品物を持ってきてくださ

ったのです。私の心の中におった心配は、

段々消えていきました。そして、その頃には

、周りの人々は優しい、日々の暮らしも楽し

いと思えるようになりました。私は徐々に変

わってきて、毎日やる気に満ちて過ごせるよ

うになったと感じました。

やっと私たちは大変な日々を終え、同僚の

病気が治ったことが本当に幸せで、皆涙を浮

かべました。

日本に来てから3年が経ちました。この国

の風景やこの国での体験も、私は決して忘れ

ないでしょう。長い桜並木、極寒の冬、また

それ以上に残っているものもあります。ですが、最も心に残っているのは社長のことです。社長には、仕事を教えていただいたばかりではなく、心からの愛情をいただきました。本当にありがとうございます。これから、より成長できるように、語学力を磨き、何事にも真摯に努力していこうと思います。